

# Noguchi

# Isamu



TAKENAKA  
CARPENTRY  
TOOLS  
MUSEUM  
SHIBUIA 竹中大工道具館

ニューヨークのマドゥガル・アレーのスタジオにて (1946年)

Photo: Eliot Elisofon, ©The Isamu Noguchi Foundation and Garden Museum, New York / ARS - JASPAR / Time LIFE

# Tools

2023.  
3.4 sat-  
5.7 sun

イサム・ノグチ Tools  
竹中大工道具館 1Fホール

開館時間 | 9:30~16:30 (入館は16:00まで) 休館日 | 月曜日 (祝日の場合は翌日)

入館料 | 大人700円、大・高生・65歳以上の方500円、中学生以下無料 (常設展観覧料を含む)

主催 | 竹中大工道具館、KOSMOS実行委員会 後援 | アンスティチュ・フランセ日本、神戸新聞社

協力 | イサム・ノグチ日本財団、イサムノグチ財団・庭園美術館 (ニューヨーク)、オゼキ、ヴィラ九条山、カンディハウス



20世紀を代表する彫刻家イサム・ノグチ(1904-1988)。彼は、木や石はもちろん、金属や粘土、時には紙など、さまざまな素材を用いて作品制作に取り組んだことでも知られています。その幅広い創作活動は、少年時に茅ヶ崎の自宅「三角の家」を新築する際に知り合った大工から木工の手ほどきを受け、道具一式を携えて太平洋を渡った時にすでに始まっていたと言えるでしょう。

彼が用いた道具の一部はニューヨークのノグチ・ミュージアムに保存されています。それらは西洋の道具と日本の道具が入り混じったものであり、日本人の父とアメリカ人の母のもとに生まれ、東西ハイブリッドな個性を有したノグチらしい国際的なコレクションになっています。

ノグチは最終的に花崗岩や玄武岩などの硬い石を用いた彫刻にたどり着き、アトリエを香川県の牟礼町に築きます。それは硬い石を加工できる石工の職人技を求めた結果でもありました。本展では、実際にノグチが使用した「道具」を通して、作品の制作過程において「素材」と「技術」がいかに密接に関係していたのかを紐解いていきます。

Isamu Noguchi (1904–1988) was one of the twentieth century’s most important and critically acclaimed sculptors. This exhibition is focused on Noguchi’s international and hybrid exploration of tools and materials, mainly from the collection of The Isamu Noguchi Foundation and Garden Museum (New York).

As the child of a Japanese father and white American mother, Noguchi’s journey as a user of tools would begin from a set of Japanese carpentry tools. He gained some skill in the construction of his mother’s house in Chigasaki. In Constantin Brâncuși’s atelier he learned another style of woodworking, and in his studios in NYC, he mixed tools from many different material working traditions and many time periods, from traditional to high-tech.

His studio in Japan, where he specialized in stone and paper, is preserved with his various works, including “AKARI” paper lantern sculptures.



イサム・ノグチが用いた大工道具(鋸) | Saws used by Isamu Noguchi



イサム・ノグチが用いた石工道具 | Masonry tools used by Isamu Noguchi



パリ滞時に用いたフランス製鋸ヤスリ  
French "chemin de fer" file used during stay in Paris



〈あかり〉の製作道具(オゼキ社提供)  
Tools for making <AKARI>(courtesy of Ozeki Co., Ltd.)



作業時に着用したゴーグル  
Goggle worn during work



西洋式の木工具(左:台鉋、右:セン)| Western-style woodworking tools (left: block plane, right: drawknife)



光の彫刻〈あかり〉| Light Sculpture <AKARI>



## 講演会「イサム・ノグチ — その彫刻と道具」

講師 | デイキン・ハート (イサムノグチ財団・庭園美術館ニューヨーク シニアキュレーター)  
聞き手 | 倉島美和子 (\*folding cosmos デザイナー・ディレクター | KOSMOS 実行委員会代表)  
日時 | 2023年4月22日 [土] 13:30~15:00  
会場 | デザイン・クリエイティブセンター神戸 <KIITO> 303 (神戸市中央区小野浜町1-4)  
定員 | 90名 (ウェブサイトより事前申込必要)  
申込締切 | 2023年3月31日 [金]

\*イベントは状況により中止または変更になることがあります。最新の情報は本展公式サイトにてご確認ください。

The Noguchi Museum Archives, O3804.  
©The Isamu Noguchi Foundation and Garden Museum, New York / ARS - JASPAR



TAKEMURA  
CARPENTRY  
TOOLS  
MUSEUM  
公益財団法人 竹中大工道具館

公益財団法人 竹中大工道具館

神戸市中央区熊内町7-5-1 TEL 078-242-0216 <https://dougan.jp>



○山陽新幹線「新神戸駅」中央改札口より徒歩約3分 ○市営地下鉄「新神戸駅」北出口2より徒歩約3分  
○シティ・ループ「12新神戸駅前(2F)」下車徒歩約3分 ○神戸市バス2系統・18系統「熊内6丁目」下車徒歩約2分

KOSMOS 実行委員会 <https://foldingcosmos.org>